

# 経済学部研究会言語文化セミナー 「戦後復興と多文化共生 日本とドイツ」 報 告

中 川 慎 二

2012年11月20日に上記のテーマで言語文化セミナーを開催した。この言語文化セミナーは、2012年度秋学期に経済学部海外客員研究員として10月2日から11月30日まで研究滞在された、デュッセルドルフ大学人文学部現代日本研究所の前みち子教授との共同研究の枠組みで開催したものである。前教授は日本学術振興会の海外招聘研究員として筆者が招聘した。また、現在副学長で前在ドイツ日本国全権特命大使の神余隆博教授にはこの共同研究の研究協力者として議論に加わっていただいた。筆者との3名でラウンドテーブルの形式で報告した。今回は、「言語文化セミナー」と経済学部原田哲史教授担当の「文化と社会の経済学B」との合併の形で実施した。司会は原田教授にお願いした。

テーマは、「戦後復興と多文化共生 日本とドイツ」であり、戦後復興から現在に至る戦後の時期、現在では高度経済成長のあとの時期に当たり、人の移動がますます頻繁に行われる中、戦後のドイツと日本の多文化共生をめぐる、個別のテーマで話題提供した後、多文化共生の可能性について議論することを意図した。(以下の記録は発表順)

日時：2012年11月20日（火） 15：10～16：40

場所：第5別館第2教室

講師：前みち子（本学経済学部海外客員研究員、デュッセルドルフ大学現代日本研究所教授）

話題1 「日本とドイツの多文化共生への道」

神余隆博（本学副学長、学長直属教授、前在ドイツ全権特命大使）

話題2 「ドイツから見たユーロ その光と影」

中川慎二（本学経済学部及び大学院言語コミュニケーション文化研究科教授）

話題3 「ドイツの日本人社会 その発展の経緯について」

後援：関西学院大学言語教育研究センター

関西学院大学大学院言語コミュニケーション文化研究科

関西学院大学言語コミュニケーション文化学会

発表内容については、話題1と話題3については、本号の論文を参照されたい。